

# 社会性報告

イノアックは、イノアックに関わるすべての人々から信頼される企業をめざします。

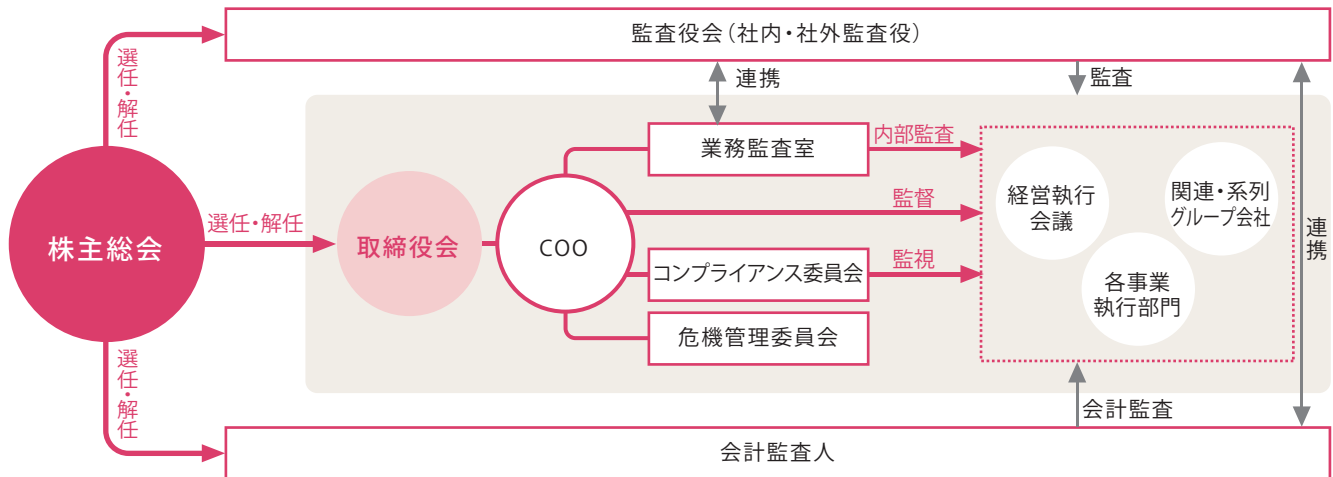
「挑戦」「CS」「誠実・信頼」「収益」「チームワーク」「責任」を行動指針と定め、社内外ともに裏表、偽りのない行動で「企業理念」を追求し、イノアックに関わるすべての人々から信頼され敬愛される企業を目指し、CSRへの取り組みを通じて社会の持続的な発展に寄与して参りたいと考えています。

## コーポレートガバナンス

### ● コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

イノアックは企業業績・企業価値・社会的信用性を高めるために、コーポレートガバナンス強化を重要な経営課題と位置付けています。

[イノアックのコーポレートガバナンス体系図(組織系統図)]



### 《コーポレートガバナンス体制》

#### 取締役会

取締役会は5名で構成されており、経営に関する重要な意思決定を行っています。各取締役より職務執行状況、財政状態および経営成績などの報告を受け、業務執行の監視・監督に当たっています。

#### 執行役員制度

経営に関する監督責任と執行責任を分離するため、執行役員制度を導入しています。取締役会より執行権限を移譲された執行役員が、事業部・グループ会社・主要職能組織長として、意思決定の迅速化と業務運営の効率化を図り、重要な業務執行への対応を行っています。

#### 監査役会

監査役会は社外監査役2名を含む3名で構成されています。監査役は、取締役会等社内の重要な諸会議に出席するほか、業務執行状況の聴取を通じて、取締役の職務の執行状況を監査しています。

### 《内部統制システム》 職務の執行内容を法令及び定款に適合させるため、さまざまな施策を行っています。

#### コンプライアンス

コンプライアンス委員会活動と、「企業行動規範」の全社員への教育

#### 情報管理

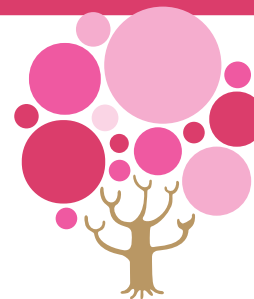
文書管理規程により、文書毎の保管部署・期間を定めた管理

#### 企業集団としての管理体制

関連・系列会社においては、関連会社管理規定を制定。業務運営ルールを明確にするとともに、必要に応じ監査役による監査を実施

#### リスク管理

各種リスクに対し経営執行会議でマネジメントしており、必要に応じ危機管理委員会を開催「マイナス情報ホットライン」の常設による、リスク情報の早期入手と対応体制を確保



## コンプライアンス

### ● コンプライアンスへの取り組み

# 1 Compliance

## コンプライアンスにおける基本的な考え方

イノアックでは、コンプライアンスとは法令を守ることにとどまらず、従業員一人ひとりが高い倫理観を持って行動することであると考えています。企業としての社会的責任を果たし、お客様の期待に応えていくためには、法令順守はもちろんのこと、従業員が企業の一員としての社会的責任を意識することが必要不可欠です。そのためイノアックでは、社内規程等の整備にとどまらず、従業員へのコンプライアンスの意識を高めるために営業担当者、調達担当者、新入社員、中途入社社員への法務研修等の充実を図っています。

# 2 Compliance

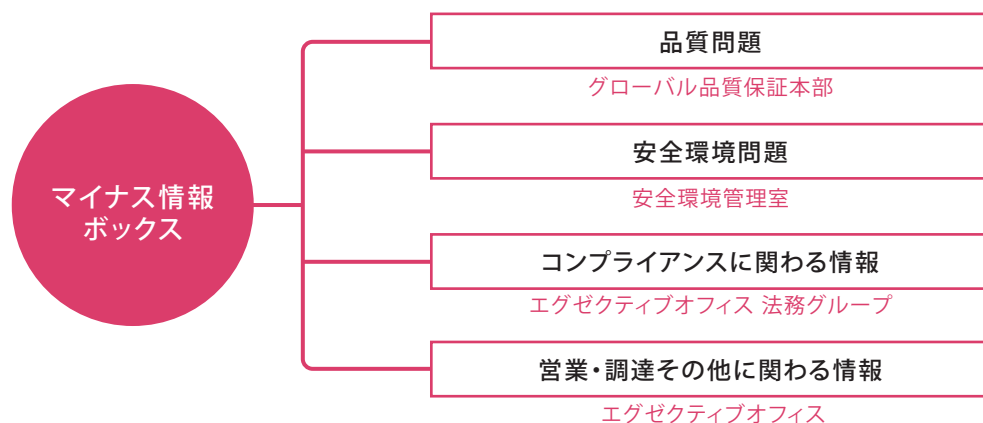
## 推進体制

イノアックは、2008年に「コンプライアンス管理規程」を定め、社内の規程を整備するとともに、従業員のコンプライアンスへの意識を高めるための体制作りを進めています。この取り組みの一環として、2010年からは、グループ会社へのコンプライアンス徹底の取り組みもスタートしました。イノアックの社内手続規程を、グループ会社にも適用可能なものへ改訂を行うとともに、各グループ会社での法務研修を行いました。これによって、各グループ会社においてもコンプライアンスの順守を徹底することができました。

# 3 Compliance

## 相談窓口の設置

コンプライアンスの徹底のためには、万が一、コンプライアンス違反行為があった場合に、企業として迅速な対応を取ることが必要です。そのためイノアックでは、法務グループを相談窓口とする「ヘルプライン」を設置し、誰でも直接相談できる窓口を設置しました。また、別途「内部通報および公益通報者保護規程」を設け、通報者が不利益な扱いを受けないよう体制を整えています。



コンプライアンスに関わる情報のみならず、品質関連問題、安全・環境問題、営業・調達・その他の問題が発生した際には迅速に対応し問題の拡大を防ぐため、マイナス情報ボックス(受付窓口)を設置しています。

# 社会性報告

## 調達

### ● 調達基本方針

#### ① グローバル調達活動の推進

イノアック国内外の拠点を活用したグローバルな調達活動と、パートナー関係の強化を図ります。

#### ② 法令・社会規範及び社内規程の順守

法令・社会規範及び社内規程を順守し、健全で開かれた調達活動を推進します。

#### ③ 公平・公正で誠実な調達活動の推進

お取引先様に対して公平・公正な競争の機会を提供し、誠実な調達活動を推進します。

#### ④ 環境・人権に配慮した調達

イノアック環境方針に基づき、地球環境に配慮した調達活動を行います。紛争鉱物(コンフリクト・ミネラル)等、人権・社会問題の原因となりうる原材料の使用については、影響に配慮した調達活動を行います。

#### ⑤ お取引先様との相互信頼に基づいたパートナーシップの構築

お取引先様との強固な信頼関係と連携を図り、技術力及び品質の維持・向上に努めます。

### ● グローバル拠点における最適調達の実施

原材料、部材等の現地調達を通じて事業拠点の所在する国々に貢献し、最適品質・最適価格に加え、長期的な取引を念頭に入れたお取引先様との良好なパートナーシップを目指します。またグローバル生産に対応した、より戦略性の高い購買活動を推進します。

### ● お取引先様との双方向コミュニケーション強化

お取引先様約100社からなるイノアック協力を組織し、相互理解を深めるとともに、お互いの企業レベルを向上させる活動を推進しています。調達連絡会を開催して、企業コンプライアンスや機密管理、有害物質管理、あるいは品質・安全への取り組みなど、企業活動の継続性に関する重要な課題に関する啓蒙活動を行ったり、経済情勢や生産動向などの情報の共有化を図っています。また、分科会活動として地方工場を訪問して勉強会を開催し、弊社の活動への理解を深めていただくように取り組んでいます。



菊池工場での勉強会

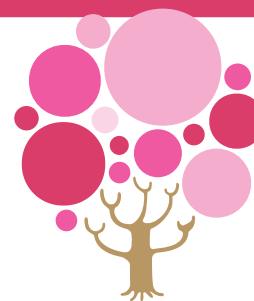


講演会風景

### ● グリーン調達活動の推進

イノアックでは、地球環境に配慮した調達活動推進のため、イノアックの製品を構成するすべての部材・材料及び製造時に使用される材料の調達において「イノアックグリーン調達基準」に基づき、含有禁止物質の不使用及び管理物質の管理・削減を継続的に実施しています。

お取引先様には、持続可能な社会の構築に向けて、イノアックグリーン調達へのご理解とご協力をお願いするとともに、RoHSやREACH、ELV指令など近年益々厳しくなっている環境規制に対する確認分析等の取り組みを一体となって進めています。



## 従業員に対する取り組み

### ● 人材教育

グローバル人事総務部では、イノアックの従業員の能力を高め、成長できる場を与えていくための『社員教育』を企画・実施しています。『教育』を生涯学習の一環と位置付け、従業員の持つ特性や能力を引き出し、あらゆる場で活かせる職場づくりと定義しています。

教育計画を一元化(見える化)した『イノアック教育体系図』を整備しています。これにより、イノアックの従業員はどの職位でいつ頃どんな教育を受けることができるかを事前に知ることができます。教育体系は、大きく2つに大別されています。1つは『階層別教育』・・人間的魅力、社会人としての常識、精神面など心の自立を目指す教育[人間性教育]と、将来必要とされる能力育成を目指す教育[能力アップ教育]から構成されています。

2つ目は『部門別専門教育』・・業務に必要な基礎知識や専門知識、技能の習得を目指す教育を行います。この部門別教育の充実を図るために精力的な活動をしています。

- 『営業研修』の拡充……初級、中級、上級と3つのレベルで、各々の営業力強化につながる教育
- 『技術研修』の強化……技術者向けのコミュニケーション力、プレゼンテーション力の強化教育
- 『製造力強化研修』……製造(モノづくりそのもの)の基本教育、基礎教育の拡充

### ● グローバル教育

イノアックは、海外に50を超える事業所(工場、事務所)があります。今後、ますます進むグローバル化(ボーダーレス化)に対応できる人材を育成するために、イノアックでは『グローバル人材育成』にも力を入れています。

『グローバルマインドセットセミナー』で、従業員のグローバル意識の改革を促し、若い時から『海外研修』に派遣し海外を体で知る(体感できる)ような教育をしています。

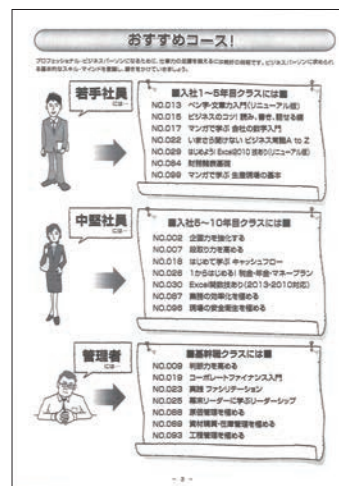
海外赴任者が赴任先で困惑しないように、先人の知恵・経験を活かした『赴任前教育』を充実し、海外駐在候補者や駐在予定者(現駐在者の後任候補者)に、計画的に教育する体制を整えています。学習費の会社補助がある『社内語学教室』を各地で開設しています。現在9クラスを運営しています。語学力の実践的学習のため、海外語学留学(4週間)にも年間10~12名の選抜メンバーが派遣されています。

また『語学手当制度』は、TOEICスコアを650点以上を獲得すると、申請により語学手当が支給されます。

### ● 自己啓発

イノアックは、従業員の自己啓発の学習意欲を補助するために『通信教育制度』もあります。毎年、100を超すコース(講座)を設定し『通信教育ガイドブック』を従業員に配布します。

通信教育の受講料は、コース修了時に、会社が半額負担(還付)する制度であり、毎年、60~70名が受講しています。グローバル人事総務部はより多くの社員が通信教育を受講するように、啓蒙活動をしています。



## 社会性報告

## ● 両立支援のための制度

## [両立支援制度一覧]

配偶者出産休暇	1980年以前
フレックスタイム制実施	1990年
女性再雇用規程	1990年
介護休業規程	1990年
ハッピーホリデー休暇	1991年
育児休業規程	1992年
母性健康管理の措置に関する規程	1998年
半日有給休暇取得制度	2000年
子の看護のための休暇	2005年
育児休業規程改訂(休業期間延長)	2005年
育児短時間勤務制度施行	2008年

従業員が働きやすい環境づくり、女性の活躍推進を目的に、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいます。育児休業規程では、子が2歳に達するまで育児休業取得を可能とし、子の看護休暇は1人の場合は5日間、2人以上の場合は10日間の特別休暇(有給)を付与しています。また、最長3年間(子が小学3年生までが対象)取得可能な「育児短時間勤務制度」を導入しています。

ほかにも、配偶者出産時に取得できる5日間の特別休暇(有給)を設けています。

## [育児休業等取得者延数]

	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
育児休業(人)		17	1	14	1	13		17		14
育児短時間勤務(人)		8		11		12		16	1	16

※2010年、初の男性育児休業取得。両立支援の制度を整える事により、2010年に初めて男性が育児休業を取得しました。

## ● 女性社員の登用

## [女性管理職昇格者数]

2002年	2007年	2008年	2009年	2011年	2012年	合計
1	1	2	2	1	1	8人

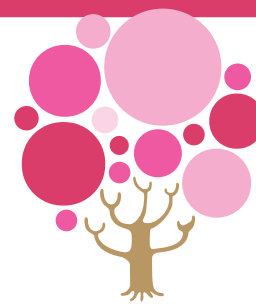
イノアックでは、女性社員の能力を引き出して、そのスキルや知識を業務で発揮してもらうために積極的に女性社員の活用を図るとともに、会社へ貢献できる環境づくりを進めています。女性社員の管理職登用もその一環として挙げられ、現在8名が管理職に就いて各分野において活躍しています。

## ● 障害者の雇用

## [障害者雇用状況推移]

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
法定雇用率(%)	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	2.0
雇用率(%) <sub>6月1日/毎年</sub>	1.57	1.61	1.99	1.92	1.93	2.06

すべての人の可能性を広げる社会の実現を目指し、障害者の方を積極的に雇用しております。障害者の方を雇用する事により、従業員にも気配りが生まれ意識が向上しました。



## イノアックグループ安全活動

# 1

### イノアック基本方針

人間愛を基本として、全員参加の安全・防災活動を推進し、安全に強い人づくり、公害ゼロ・災害ゼロの快適職場づくりを図る。

# 2

### イノアック安全・衛生月間活動

- 厚生労働省の運動行事に併せた活動
- 過去の災害に学んだ月次重点実施事項(毎月)
- 職場のルール見える化→職場・個人ルール掲示

# 3

### 全社安全衛生委員会の開催

- 社長を委員長とした中央安全衛生委員会を年4回と、役員点検年2回実施(主要工場)
- 実担者安全衛生委員会を年6回開催
- 各工場安全衛生委員会を月1回開催

# 4

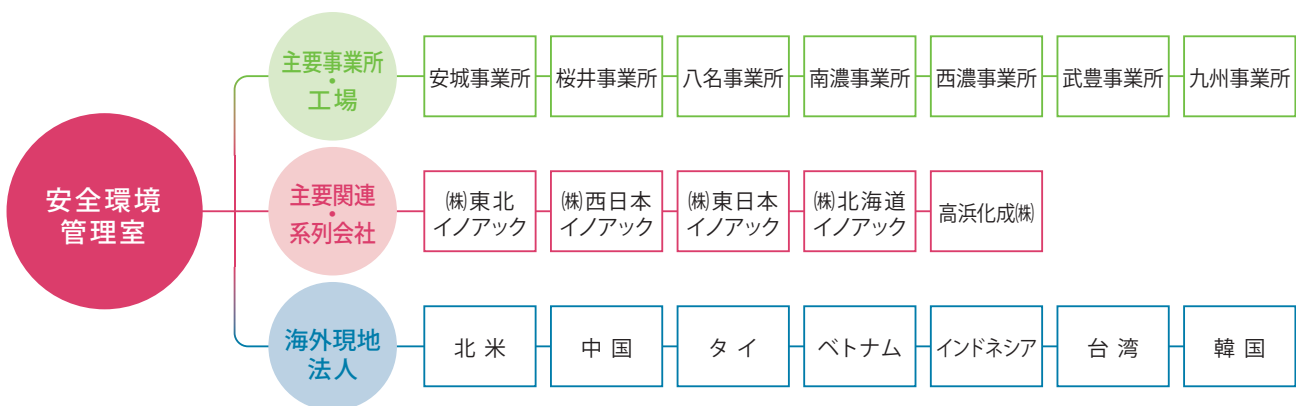
### 健康増進に向けた取り組み

- 産業医の毎月の工場巡視、安全衛生委員会での指導を月1回開催
- 相談窓口設置によるメンタルヘルスサポートの実施
- 事業所内の分煙化の徹底
- 快適職場作りとして、管理区分低減活動

# 5

### リスクアセスメント活動

- 化学物質のリスクアセスメント活動への展開
- イノアック各工場へ横展開



## 防災活動

# 1

### 大規模地震災害減災対応

- ① 建屋・設備・地震減災対策
  - 人命第一を基本とし建屋(震度6強)補強工事、設備、外構、什器の転倒・落下対策と出火防止対策
  - 重点設備: 受電・ボイラー・ガス・原料タンク・危険物の停電対応・危険物流出防止
- ② 地震発生時減災への備え
  - ハード・ソフト見直しと訓練(緊急連絡網・避難誘導・備蓄品・防災資材・通信等の設備)
- ③ 地震・災害発生後の対応
  - 発生後対応訓練(初動体制・復旧本部立上げ・避難訓練・連絡網整備など)

# 2

### 火災・風水害対策

- ① 生産現場の火災・防爆予防
  - 重点設備(加熱炉・集塵機・火災発生設備)の見える化と日常点検・管理強化
  - 危険物・可燃物管理の徹底・危険物可燃物取扱職場の見える化と防火対策
  - 火気使用工場の防火、防爆体制の確立で安全作業の徹底
- ② 風水害対応体制の確立
  - 防災機器の設備と管理体制の強化
  - 防災関連設備、危険物管理状態の定期監査とパトロールの実施

## 社会性報告

## 社会・地域貢献活動

## ● イノアック・イノベーションサポート

イノアックでは、ささやかながら地域社会への貢献の一助として文化支援活動「イノアック・イノベーションサポート」を永年にわたり続けています。内容はバレエやオペラ公演への協賛など、多岐にわたっています。

このような各種イベントへの協賛等により、文化振興に貢献するだけでなく、社会とイノアックの結びつきを一層深めるきっかけとなることと信じています。今後も積極的な支援活動を続けていきます。



1991年 第1弾: つがいけサイクル'91  
第2弾: マジックショー「スノーピーの不思議な世界旅行」  
第3弾: 全日本オフロードサイクリングIN桐池

1992年 第4弾: ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団  
「ウィンナ・ワルツの調べ」  
第5弾: 試写会「ザ・スタント/アメリカ物語 2」  
第6弾: '92スタジアムトライアル

1993年 第7弾: ウィンナワルツ・オーケストラ  
第8弾: マウンテンバイクフェスティバルINダイナランド  
第9弾: スタジアムトライアル

1994年 第10弾: ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ  
第11弾: イノアック IRCカップ

1995年 第12弾: レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」  
第13弾: イノアック IRCカップ

1996年 第14弾: ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場  
「メリーウィドウ」

1997年 第15弾: レニングラード国立バレエ「ドン・キホーテ」

1998年 第16弾: レニングラード国立バレエ「眠りの森の美女」

1999年 第17弾: ウィーン・カンマー・オペラ「こうもり」

2000年 第18弾: レニングラード国立歌劇場管弦楽団  
「華麗なるバレエ・ワルツの祭典」

2001年 第19弾: プラハ国立劇場オペラ「魔笛」  
【東京公演・名古屋公演】

2002年 第20弾: ハンガリー国立歌劇場「こうもり」  
【東京公演】  
ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場  
「チャールダーシュの女王」  
【名古屋公演】

2003年 第21弾: ポーランド国立歌劇場「トゥーランドット」  
【東京公演・名古屋公演】

2004年 第22弾: ローマ・イタリア歌劇団オペラ「椿姫」  
【東京公演・名古屋公演】  
第23弾: ハンブルクバレエ「眠れる森の美女」  
【東京公演】

2005年 第24弾: チェコ国立ブルノ歌劇場「カルメン」  
【名古屋公演】

2006年 第25弾: プラハ国立劇場オペラ「フィガロの結婚」  
【東京公演・名古屋公演】

2007年 第26弾: ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場  
「こうもり」  
【東京公演・名古屋公演】

2008年 第27弾: チェコ国立ブルノ歌劇場「タンホイザー」  
【東京公演】  
ウィンナー・ワルツ・オーケストラ  
【名古屋公演】

2009年 第28弾: レニングラード国立バレエ団「眠れる森の美女」  
【東京公演】  
レニングラード国立バレエ団「ジゼル」  
【名古屋公演】

2010年 第29弾: ニューイヤースペシャルコンサート コルソ・ウィーン  
【東京公演】  
ウィーン放送交響楽団  
【名古屋公演】

2011年 第30弾: ウィンナー・ワルツ・オーケストラ  
「宮殿祝賀コンサート」  
【東京公演・名古屋公演】

2012年 第31弾: ウィーン交響楽団 ヨハン・シュトラウスアンサンブル  
【東京公演】  
ウィンナー・ワルツ・オーケストラ  
「宮殿祝賀コンサート」  
【名古屋公演】

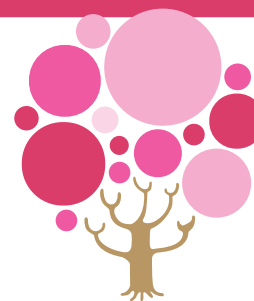
2013年 第32弾: キエフ・バレエ「白鳥の湖」  
【東京公演】  
キエフ・バレエ「眠りの森の美女」  
【名古屋公演】



## ● 公益財団法人イノアック国際教育振興財団

1987年、グローバルに活躍する人材の育成を目的とした「イノアック国際教育振興財団」を設立しました。1950年代からグローバル展開を推進してきたイノアックは、世界に通用する市場価値を持った人材育成の必要性を痛感してきました。

そして財団設立以来、中国、韓国をはじめ様々な国、また日本の学生に奨学金を給付し、海外留学の支援を行ってきました。支援を受けた学生の人数は260名を超えました。こうした人材が将来世界を舞台にはばたくことは、イノアックの大きな喜びです。



## PAプロジェクト

社員の仕事と家庭の両立を目指すポジティブアクションプロジェクト活動の一貫として、今年も安城事業所の企業参観が開催され、社員のご家族が参加しました。

参加したお子さんたちは初めて見る工場、ウレタンのハンド発泡に驚いていました。今年は初めての試みとして実験室にて、液体窒素を使用して実験を行いました。子供たちに大人気で、いろいろな物をリクエストして凍らせていました。

参加者からは「親がどのような仕事をしているのか子供が知ることができてよかったと思う。」などたくさんの感想が寄せられました。



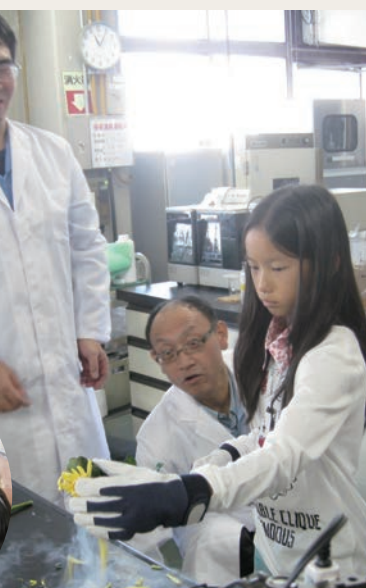
工場見学



ハンド発泡



社員食堂

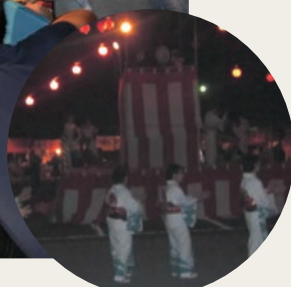


実験室

## 地域住民との交流活動



当日の様子1



当日の様子2



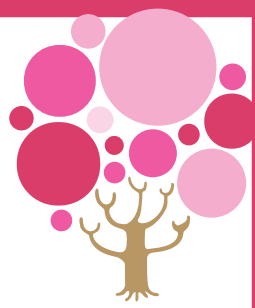
当日の様子3



当日の様子4

西濃事業所では毎年8月の第四土曜日に地域住民との交流を目的として、盆踊り大会を開催しています。この活動は西濃工場の前身の(株)西濃ゴム化学時代から毎年続いており、今年で40回を迎えました。当日は、工場の駐車場にやぐらを立て、夜店でかき氷や、焼きそばなども提供し、工場周辺の地域の方々にご来場いただきました。また大抽選会も開催し、たいへん盛り上がりました。その他西濃事業所以外に、安城、桜井事業所でも毎年バザーを開催し、地域住民の方との交流を深める活動を行っています。





## お客様との関わり

### ● グローバル体制を活かした取り組み

高度化・複雑化するお客様のニーズに対応すべく、イノアックでは世界各地に生産・販売の拠点を設置し、グローバルな支援体制を確立してきました。

今後もグローバルネットワークを活用した情報収集、技術交流を積極的に推進していくなかで、各国のお客様のニーズに沿った商品を提案し、課題解決に取り組んでまいります。

### ● お客様からの評価・受賞

イノアックでは、世界のお客様にご満足いただける地球環境に配慮した製品の供給を目指しています。

国内においては、コスト協力と新製法・新材料の積極的な開発を評価されての受賞や、海外の拠点においても品質優秀賞を受賞するなど、世界のお客様より評価をいただいています。

今後ともQuality(品質)・Cost(コスト)・Delivery(デリバリー)・Safety(安全性)で、お客様より高い評価を得られるように体制の強化に継続して取り組みます。

## 品質向上を実現する取組み

### ● イノアックでは品質向上を実現するために、従来のQC活動の他に品質革新プロジェクト活動に取り組んでいます。

#### ◎ 各事業所での根本的な品質改善を意図した品質革新プロジェクトの実行

すでに実行されている品質レベルを日常的、持続的に改善する活動に加えて、各事業所で根本的に重要な品質属性(製品の歩留まり等)を取りあげて、その圧倒的レベルアップを図るべく、事業所内の事業責任者、品質保証、製造、技術スタッフに本社グローバル品証も加わり全社的視点からの検討を図っています。

### ● 品質革新プロジェクトの個別活動紹介

#### ◎ 統計的品質管理教育

イノアック全社員を対象とし、問題解決・品質改善活動の一番基本となる品質管理の知識教育を進めています。この教育は検定・推定から配置実験・回帰分析などの統計的手法を中心に、日本品質管理学会認定の品質管理検定2級レベル教育です。

#### ◎ 品質総点検

国内生産拠点はもちろん、海外に広がる生産拠点に対しても、品質管理のスペシャリストによる4M視点で品質保証レベルの点検・指導を実施し、グローバル品質力の向上に努めています。

#### ◎ 工程管理のIT化

各工程で作成している日報を、手書からタブレットPCでの入力へとIT化を進め、工程で発生している不具合を迅速に把握し、適切な処置のスピードアップを図る仕組み作りを進めています。また得られたデータを解析し傾向を把握することで、不具合発生の未然防止に繋がっています。



品質管理教育



工場管理のIT化